



2025年5月14日

各位

会社名 INCLUSIVE 株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤田 誠
(コード番号：7078 グロース市場)
問合せ先 管理本部長 正田 聡
(TEL 03-6427-2020)

特別損失の計上及び 2025 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年2月13日に公表しました2025年3月期の通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、2025年3月期において、特別損失を計上いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) ※ | 4,916 | △358 | △344 | △168 | △16.82 |
| 実績値 (B) | 4,897 | △366 | △353 | △1,078 | △107.42 |
| 増減額 (B-A) | △18 | △8 | △8 | △909 | |
| 増減率 (%) | △0.4 | - | - | - | |
| (ご参考) 前期実績 (2024年3月期) | 5,359 | △94 | △103 | 313 | 31.38 |

※2025年2月13日発表の通期業績予想修正値

(参考) 調整後 EBITDA (営業利益+減価償却費及びのれん償却費+株式報酬費用+寄付金)

実績値 2025年3月期 △106百万円

前回発表予想 2025年3月期 △107百万円

(増減額 1百万円、増減率 1.1%)

2. 差異の理由

売上高につきましては、前回発表の業績予想値に沿った着地となりましたが、主にメディア&コンテンツ事業における営業活動の不調および協業先メディアとの取り組み条件の悪化による不採算部門の増加、さらに選択と集中による不採算案件からの撤退により低調に推移いたしました。

営業損失および経常損失につきましても、業績予想値に沿った着地となりましたが、売上減少に伴う減益、事業再編に伴うコスト増加、各事業領域における原材料費の高騰によるコスト増加により、損失額が増加しております。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、「3. 特別損失の計上について」に記載のとおり、当社子会社である株式会社オレンジ及び同グループ関連会社の業績が、取得当初の計画を下回って推移したため、将来の回収可能性を検討した結果、のれん等の資産の減損損失 1,111 百万円を計上いたしました。それにより、親会社株主に帰属する当期純損失は業績予想値を大きく下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上について

(1) 連結決算

当社の連結子会社である株式会社オレンジ及び同グループ関連会社において、当初策定の計画を下回って推移したため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、2025年3月期の連結決算において、超過収益力として計上しているのれん等1,111百万円の減損損失および当社の少額投資先である投資有価証券の評価損81百万円を計上いたしました。

なお、当連結会計期間において減損損失を計上したことにより、来期以降、約117百万円の営業費用の減少効果があり、営業利益および経常利益の増益要素となる見込みです。

(2) 個別決算

上記「(1) 連結決算」における状況から、当社の保有する株式会社オレンジ及び同グループ関連会社の株式について再評価を行った結果、実質価額に大幅な低下がみられたことより、関係会社株式評価損1,424百万円を計上いたしました。また、当社の少額投資先である投資有価証券の評価損81百万円を計上いたしました。

以上